



環境経営レポート

～無限の可能性を秘めた子供達の為に
今私たちが出来る事～

2022年度

陸特殊金属工業株式会社 焼結事業部

運用期間 (21年10月～22年09月)

発行日 2023.3.8

目次

1. 会社概要・沿革
2. 環境管理組織
3. 環境経営方針 基本理念
4. 焼結事業部CO2年間排出量
- 5-1. 環境目標（東京工場）
- 5-2. 環境目標（秋田工場）
- 5-3. 環境目標（山形工場）
- 5-4. 環境目標（山形第二工場）
6. 主要な環境活動計画（東京工場 秋田工場 山形工場 山形第二）
- 7-1. 環境目標とその実績（東京工場）
- 7-2. 環境目標とその実績（秋田工場）
- 7-3. 環境目標とその実績（山形工場）
- 7-4. 環境目標とその実績（山形第二工場）
- 8-1. 環境活動の取り組み結果と評価（東京工場）
- 8-2. 環境活動の取り組み結果と評価（秋田工場）
- 8-3. 環境活動の取り組み結果と評価（山形工場）
- 8-4. 環境活動の取り組み結果と評価（山形第二工場）
9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無
- 10-1. 代表者による全体評価と見直し結果（東京工場）
- 10-2. 代表者による全体評価と見直し結果（秋田工場）
- 10-3. 代表者による全体評価と見直し結果（山形工場）
- 10-4. 代表者による全体評価と見直し結果（山形第二工場）



1.会社概要

(1) EA21認証・登録事業者名

睦特殊金属工業株式会社
焼結事業部東京工場
焼結事業部秋田工場
焼結事業部山形工場
焼結事業部山形第二工場

(6) 環境管理責任者

管理本部 山根 裕也
連絡先 TEL:042-795-0031
FAX:042-796-1827
メールアドレス：
y-yamane@mutsumi-t.co.jp

(2) 本社所在地 (2021年7月移転町田⇒二子)

東京都世田谷区玉川2-16-6
睦ビル二子玉川 4F

(7) EA21認証・登録対象外

*樹脂事業部 大雄工場 (ISO14001)
*樹脂事業部 柳田工場 (ISO14001)
*樹脂事業部 福島工場
(2024年 ISO14001 取得予定)
本社 (拡大2023年予定)
*他のEMSの認証取得済み

(3) 代表者名

代表取締役社長 池田行廣

(4) 事業内容

焼結機械部品・含油軸受等の製造

(5) 事業の規模

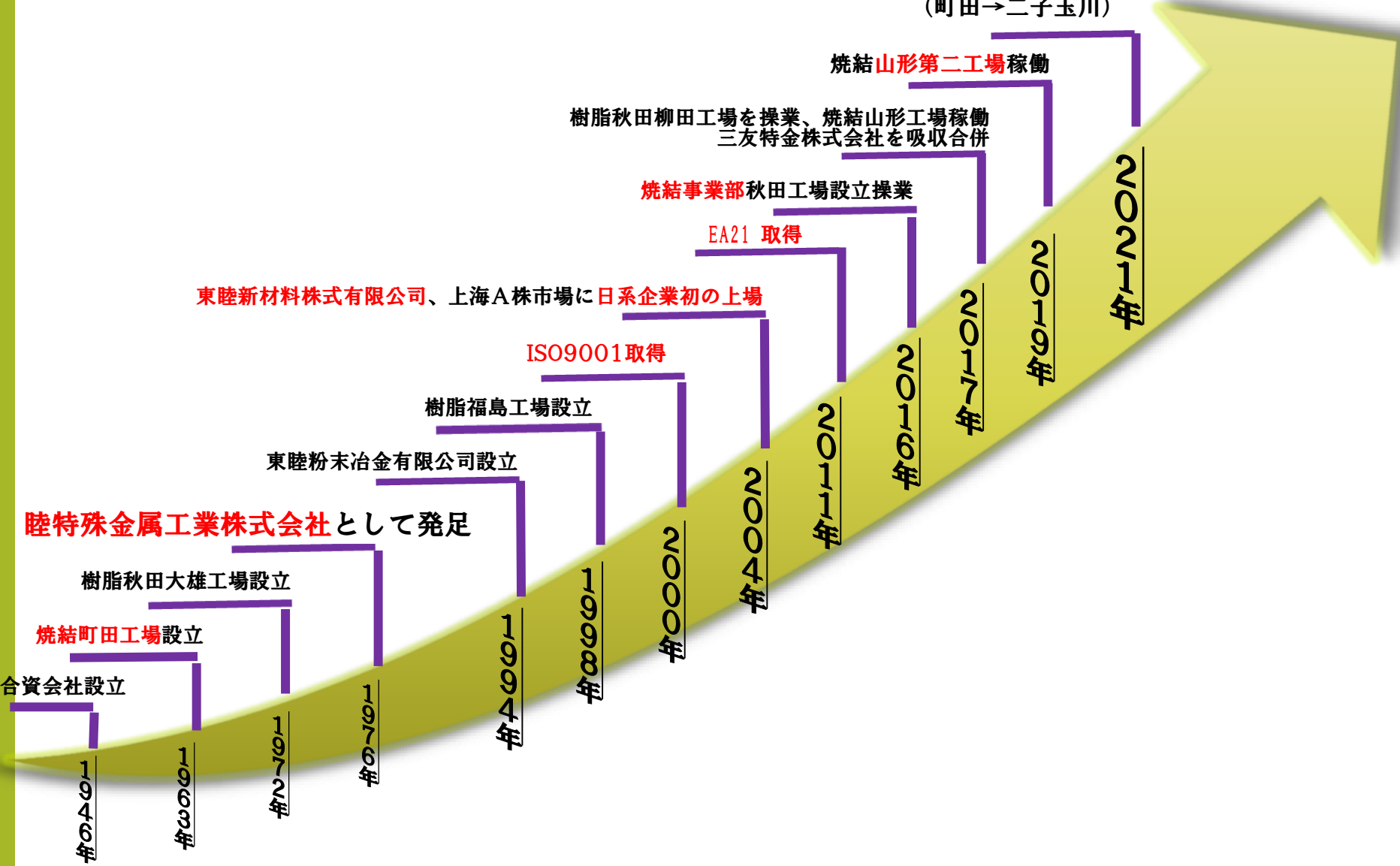
年間売上：11億7515万円 (全社：23億8340万円)
従業員数：98名 (全社：250名樹脂事業部含む)



沿革

睦特殊金属工業、創業77年の歩み

睦特殊金属工業株式会社 本社移転
(町田→二子玉川)





2.環境管理組織

2023年3月現在
 東京工場 33名
 秋田工場 25名
 山形工場 12名
 山形第二工場 23名
 本社 11名

経営層	
代表取締役社長 池田行廣	
<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の決定と環境マネジメントシステムの見直し ・課題とチャンスの明確化 	

環境管理責任者	
山根裕也	
<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全活動の推進 ・環境改善計画立案 ・環境保全活動のしくみ作り ・計画に伴う各部署への指示 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の実績管理 ・環境データの集計 ・環境MS会議の主催 ・経営層への進捗報告

環境マネジメントシステム EMS				
担当責任者				
	東京工場	秋田工場	山形工場	山形第二
電気使用量削減	羽田鋭治	柿崎信人	菊地勝毅	菊地勝毅
廃棄物排出量削減	白藤和彦	渡邊誠	洪谷孝	高木鋭一
水使用量削減	森田健	今野寿人	高橋徹	高木鋭一
グリーン購入	服田真紀子	山根裕也	遠田文	遠田文
化石燃料削減	白藤和彦	山根裕也	菊地勝毅	菊地勝毅

化学物質管理システム CMS				
担当責任者				
	東京工場	秋田工場	山形工場	山形第二
責任者	羽田鋭治	富安健太	加藤俊也	加藤俊也
副責任者	藤田あゆみ	柴田侑斗	佐藤隆宏	佐藤隆宏

環境保全担当者								
東京工場	秋田工場		山形工場		山形第二工場			
工場長	羽田鋭治	工場長	山根裕也	工場長	菊地勝毅	工場長	菊地勝毅	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全活動の実施 ・問題点の把握と解決 ・社員教育 ・環境MS会議に出席
製造課主任	森田健	品質課課長	富安健太	製造課主任	高橋徹	品質課主任	加藤俊也	
本社総務経理	白藤和彦	製造課課長	渡邊誠	製造課主任	洪谷孝	製造課主任	高木鋭一	
本社総務経理	服田真紀子	製造課主任	柿崎信人					
品質保証課	藤田あゆみ	技術課主任	齋藤龍太郎					
		製造課	今野寿人					

3.環境経営方針

行動指針

基本理念

私たちは、粉末冶金製品の生産を中心にした事業活動において、環境に配慮した生産活動を推進する事により、社会に貢献する事を目指します。

そして、環境保全への取り組みを経営の重要な柱の一つとして捉え、社会の調和ある発展に貢献出来るように、不断の努力を行います。

1. 環境及び有害化学物質に関わるあらゆる法則制、ユーザー及びその他の要求事項を遵守する。
2. 事業活動の全ての分野で、省エネルギー・省資源及び廃棄物発生の低減に努め、且つそれらのリサイクル化を推進する。
3. 事業活動において、製品（購入品含む）・原材料及び副資材の有害化学物質を的確に把握し、それらの保管・使用・廃棄等を適切に行い。且つそれらの使用量の削減、安全性の高い物質への切替えに努める。
4. 事業活動において、環境汚染の予防に努める。
5. 事業活動が環境に与える影響を把握し、環境目的及び環境目標を設定し、継続的な改善に努める。
6. 環境教育を通じて、全社員の意識向上を図るとともに、一人ひとりが広く社会に目を向け、自ら責任を持って環境保全活動を遂行できるよう、啓発と支援を行う。

改定日：2019年10月1日

制定日：2012年10月1日

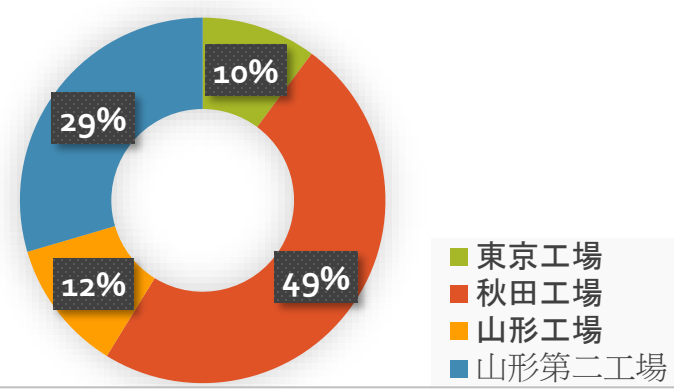
池田 行廣



4.焼結事業部 年間CO2排出量

	2020年		2021年		2022年	
	CO2排出量 (kg-CO2)	比率 %	CO2排出量 (kg-CO2)	比率 %	CO2排出量 (kg-CO2)	比率 %
焼結事業部合計	1,215,702	100%	1,437,530	100%	1,425,141	100%
東京工場	118,399	10%	149,298	10%	144,979	10%
秋田工場	581,317	48%	770,215	54%	692,840	49%
山形工場	168,143	14%	116,872	8%	166,327	12%
山形第二工場	347,843	28%	401,145	28%	420,995	29%

CO2排出量



当社が生産する
製品1g当たり
0.0039kg-CO2

5-1 2022年度環境目標（東京工場）



電気使用量削減

2%削減

(2017年基準比)

267,885kWh以下/年

《CO2排出量》

123,494kg-CO2以下



廃棄物排出量削減

2%削減

(2019年基準比)

11.12ton以下

2019年基準値：11.35t



水使用量削減

4%削減

(2017年基準比)

518m³以下

2017年基準値：540m³

環境目標(中期目標)

	電気使用量削減	廃棄物排出削減	水道使用量削減
2022年度	2%削減	2%削減	4%削減
2023年度	4%削減	3%削減	5%削減
2024年度	5%削減	4%削減	6%削減



5-2 2022年度環境目標（秋田工場）



生産電気使用量削減
5%削減
(売上比)
4,463kWh以下/
売上百万円
《CO2排出量》



電気使用量削減
5%削減
(2017年基準比)
1,622,613kWh以下
《CO2排出量》
847,004kg-CO2以下



廃棄物排出量削減
2%削減
(売上比)
19.6KG以下/
売上百万円



水使用量削減
3%削減
(売上比)
2.32m3以下/
売上百万円

環境目標(中期目標)

	生産電気削減	電気使用量削減	廃棄物排出削減	水道使用量削減
2022年度	5%削減	5%削減	2%削減	3%削減
2023年度	6%削減	6%削減	3%削減	4%削減
2024年度	7%削減	7%削減	4%削減	5%削減

(注記) LPG燃料を使用しているが、生産量比例のため目標を設定していない

5-3 2022年度環境目標（山形工場）



電気使用量削減

2%削減

(2019年基準比)

366,240kWh以下/年

《CO2排出量》

191,177 kg-CO2以下



廃棄物排出量削減

2%削減

(2019年基準比)

9.8on以下

2019年基準値：10t



水使用量削減

2%削減

(2019年基準比)

980m³以下

2019年基準値：1,000m³

環境目標(中期目標)

	電気使用量削減	廃棄物排出削減	水道使用量削減
2022年度	2%削減	2%削減	2%削減
2023年度	3%削減	3%削減	3%削減
2024年度	4%削減	4%削減	4%削減

(注記) LPG燃料を使用しているが、生産量比例のため目標を設定していない¹⁰

5-4 2022年度環境目標（山形第二工場）



電気使用量削減

2%削減

(2019年基準比)

683,142kWh以下/年

《CO2排出量》

356,600kg-CO2以下



廃棄物排出量削減

2%削減

(2019年基準比)

9.8ton以下

2019年基準値：10.0t



水使用量削減

2%削減

(2019年基準比)

784m³以下

2019年基準値：800m³

環境目標(中期目標)

	電気使用量削減	廃棄物排出削減	水道使用量削減
2022年度	2%削減	2%削減	2%削減
2023年度	3%削減	3%削減	3%削減
2024年度	4%削減	4%削減	4%削減

(注記) LPG燃料を使用しているが、生産量比例のため目標を設定していない



6. 主な環境活動計画 2020年10月～2021年9月末

生産電気使用量

東京工場責任者 羽田鋭治
 秋田工場責任者 柿崎信人
 山形工場責任者 菊地勝毅
 山形第二工場責任者 菊地勝毅

- ・ ①生産設備の効率稼働（生産向上）
- ・ ②省エネ機械・設備の導入及び省エネ方策
- ・ ③照明、空調設備の省エネ方策
- ・ ④不要時の消灯運動（就業時、休憩、就業後の消灯徹底）
- ・ ⑤空調温度の適正管理（暑すぎ、寒すぎ温度排除）
- ・ ⑥業務改善（効率化）による残業時間の減少
- ・ 監視測定 月／1回

廃棄物排出量

東京工場責任者 白藤和彦
 秋田工場責任者 渡邊誠
 山形工場責任者 渋谷勉
 山形第二工場責任者 佐藤夏樹

- ・ ①分別回収の細分化⇒リサイクル切替
- ・ ②廃棄鉄粉の削除⇒こぼれ粉など
- ・ ③ダンボール箱⇒
- ・ キャディ、マテハンの利用、包装資材の再利用
- ・ ④紙の使用量削減
- ・ （電子文書化、使用済コピー紙の裏面使用など）
- ・ ⑤エコ商品の購入（事務用品）
- ・ 監視測定 1Q／1回

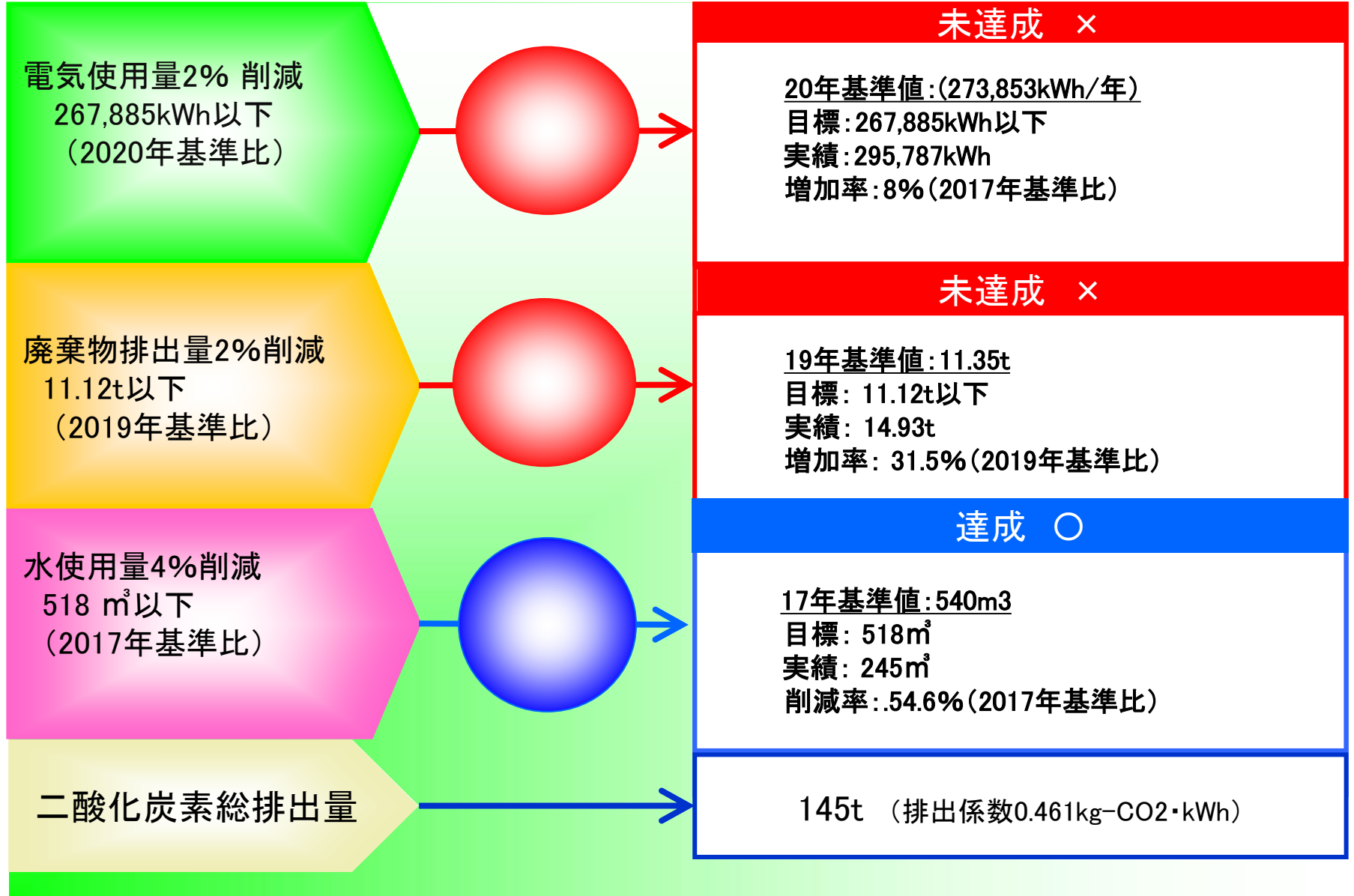
水使用量

本社・東京工場責任者 森田健
 秋田工場責任者 今野寿人
 山形工場責任者 渋谷勉
 山形第二工場責任者 佐藤隆宏

- ・ ①節水の表示、水の出しっぱなしの禁止
- ・ ②水の水量調整
- ・ ③定期的に指針チェック⇒水の使用量の把握(毎日) /漏水確認
- ・ ④節水の呼びかけ
- ・ 監視測定 毎月／1回



7-1.環境目標とその実績(東京工場)



未達成 ×

20年基準値:(273,853kWh/年)
目標:267,885kWh以下
実績:295,787kWh
増加率:8%(2017年基準比)

未達成 ×

19年基準値:11.35t
目標:11.12t以下
実績:14.93t
増加率:31.5%(2019年基準比)

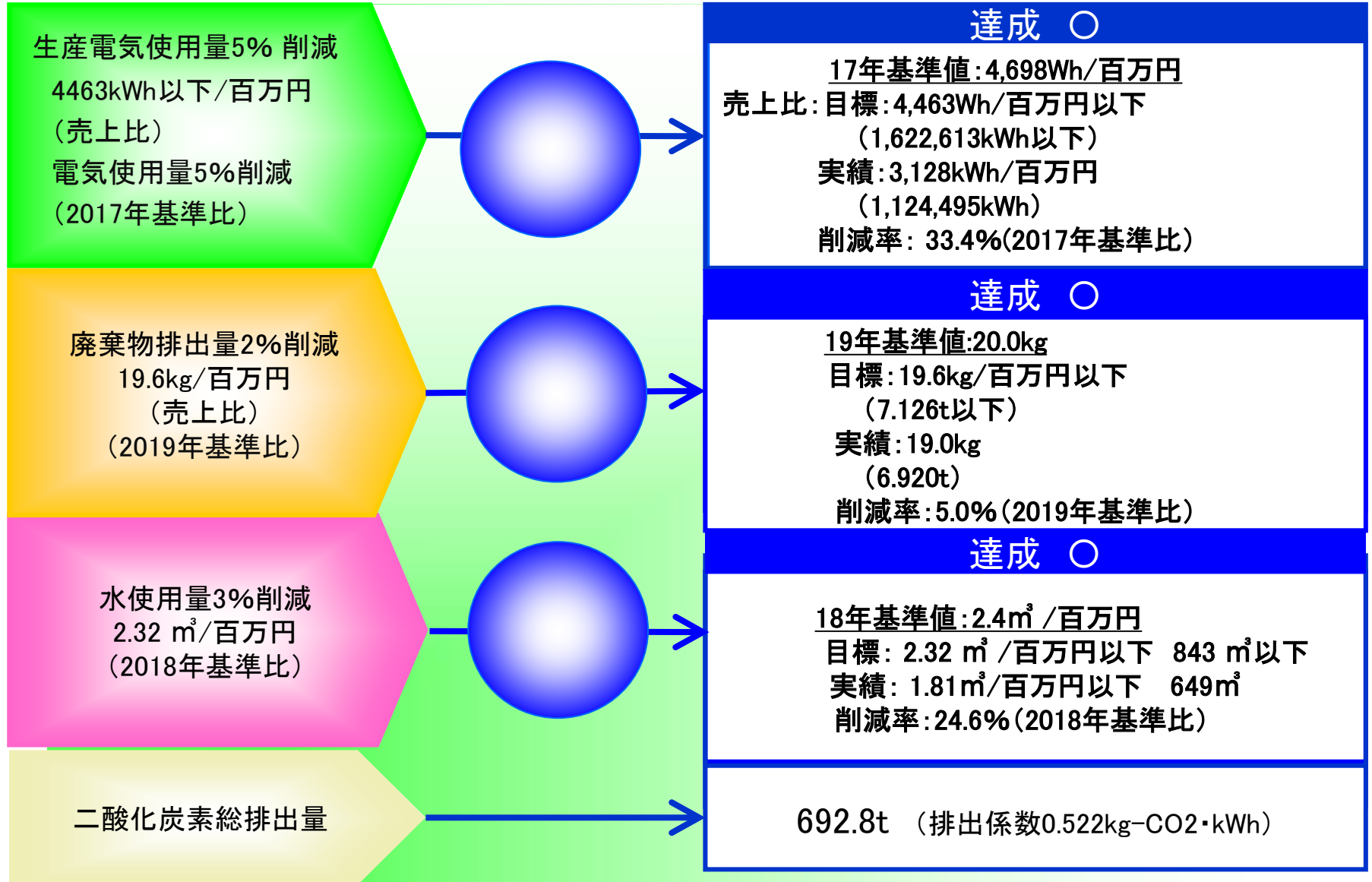
達成 ○

17年基準値:540m³
目標:518m³
実績:245m³
削減率:.54.6%(2017年基準比)

145t (排出係数0.461kg-CO₂・kWh)

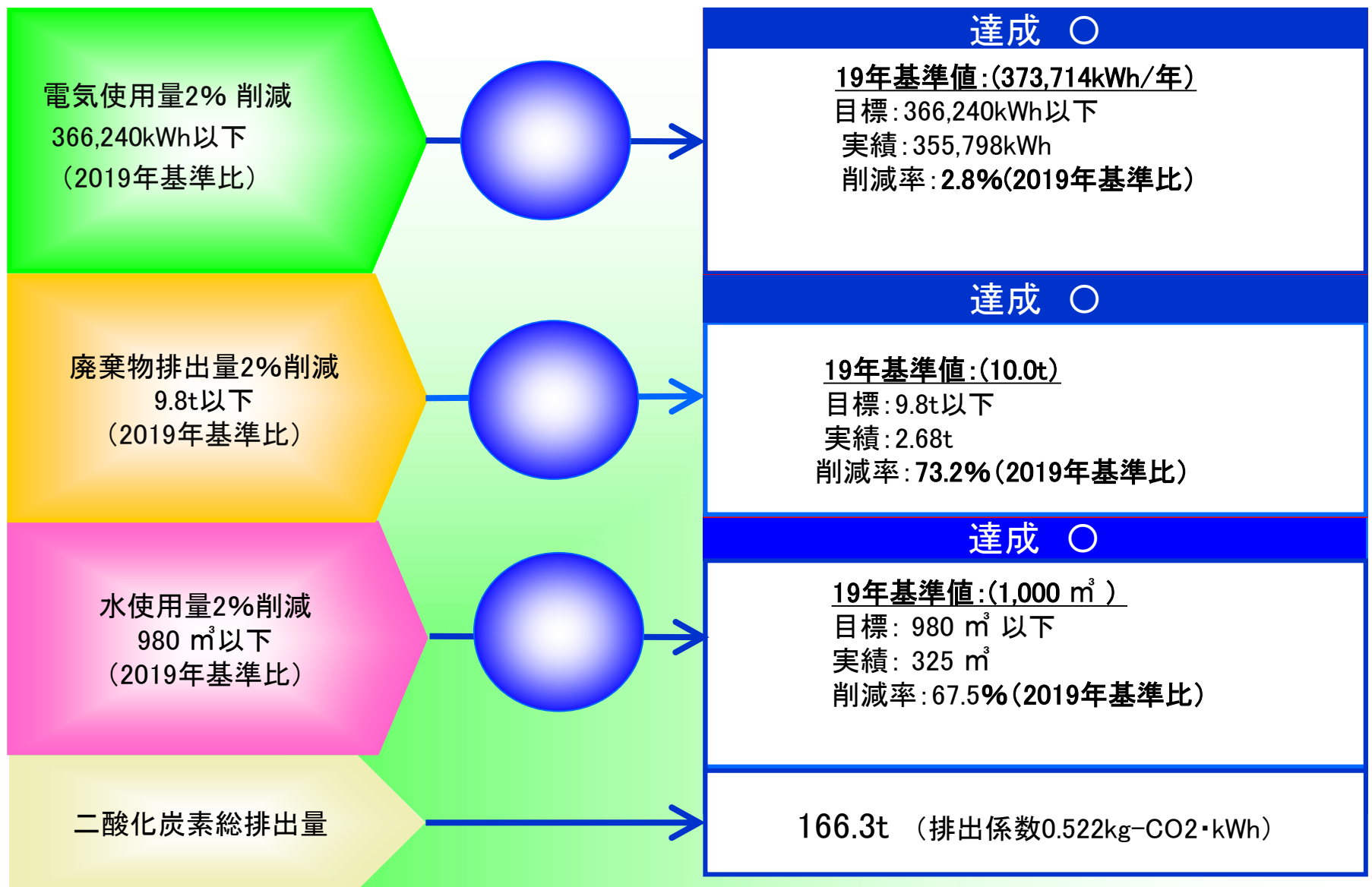


7-2.環境目標とその実績(秋田工場)



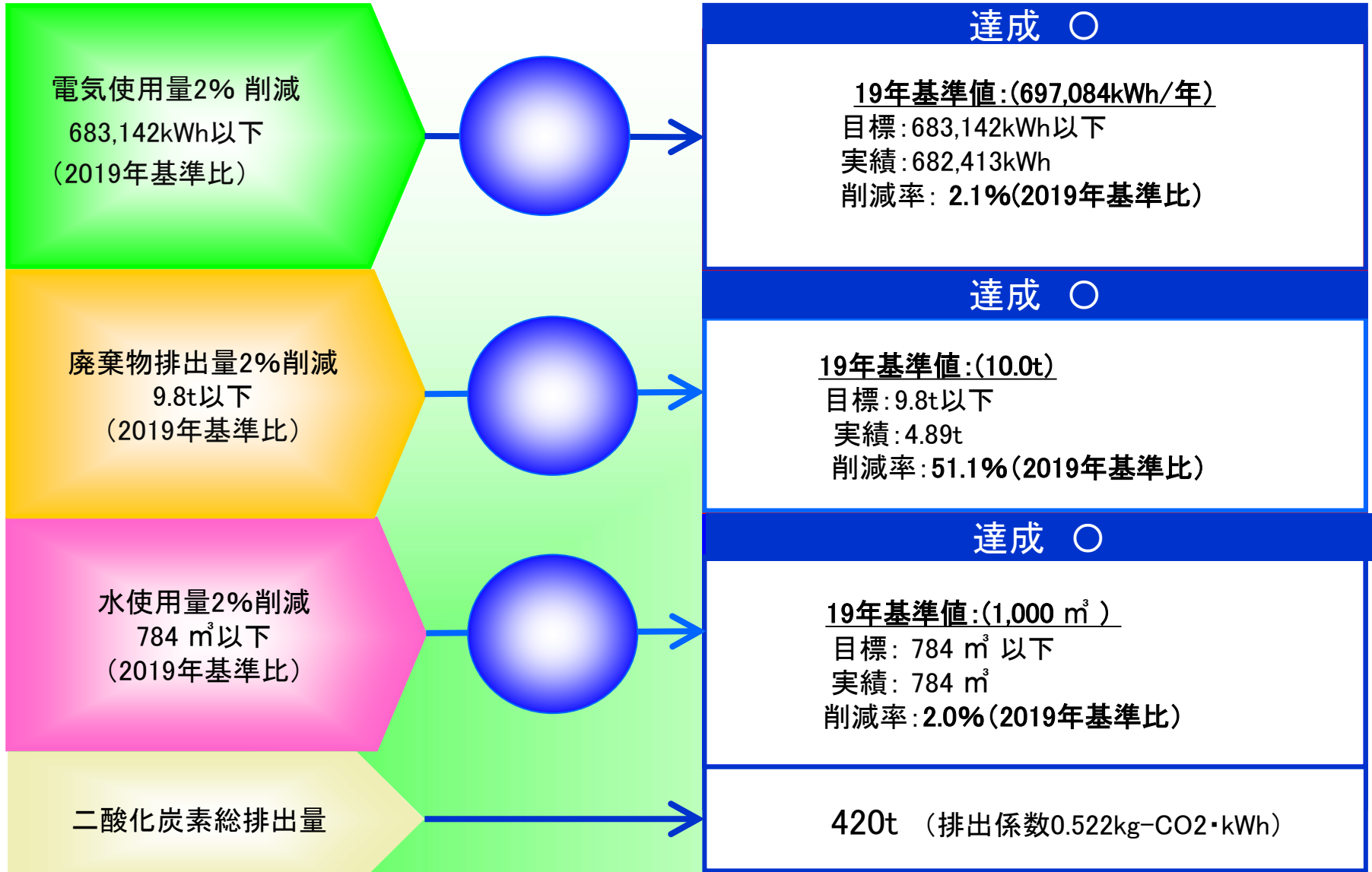


7-3.環境目標とその実績(山形工場)





7-4.環境目標とその実績(山形第二工場)



達成 ○

19年基準値:(697,084kWh/年)
目標:683,142kWh以下
実績:682,413kWh
削減率:2.1%(2019年基準比)

達成 ○

19年基準値:(10.0t)
目標:9.8t以下
実績:4.89t
削減率:51.1%(2019年基準比)

達成 ○

19年基準値:(1,000 m³)
目標:784 m³以下
実績:784 m³
削減率:2.0%(2019年基準比)

420t (排出係数0.522kg-CO₂・kWh)

8-1. 環境活動の取り組み結果と評価(東京工場)

評価基準：◎：120%以上達成率

- ：概ね100%以上達成率
 △：75%～100%未満の達成率
 ×：75未満の達成率

環境目標	活動項目	取り組み結果の評価	次年度取り組み
電気使用量2%削減 267,885kWh以下 (2020年基準比)	省エネ設備導入 不要時の消灯・電源OFF 空調温度適正管理 生産効率	評価：× 工場移管用試作(ステンレス)による真空炉稼働増。 及び東睦輸入品の売上増加による工場稼働時間増加による影響。	・生産移管の行い業態変化を中心に行う。
廃棄物排出量2%削減 11.12t以下 (2019年基準比)	分別基準の説明 分別回収の徹底 リサイクル化の推進 紙使用量削減 エコ商品の購入	評価：× 購入品販売量増加による副資材廃棄量増加(1.4倍)。	・購入品資材の再利用化 ・エコ商品の購入 ・木パレの転用 (山形第二工場にて利用へ) ・廃プラ圧縮
水使用量4%削減 518 m ³ 以下 (2017年基準比)	節水への呼びかけ 節水蛇口等の取り付け 漏水防止	評価：◎ 生産量減少と節水。	・継続的な監視(節水・漏水)
グリーン購入促進	グリーン購入調査	評価：○ エコ製品の調査と促進による	・エコマークの周知 ・継続的なグリーン購入品調査
化石燃料削減	燃費向上運転教育	評価：○ 2車種中2車種達成	・エコドライブ教育 ・エコドライブ監視

8-2. 環境活動の取り組み結果と評価(秋田工場)

評価基準：◎：120%以上達成率

○：概ね100%以上達成率

△：75%～100%未満の達成率

×：75未満の達成率

環境目標	活動項目	取り組み結果の評価	次年度取り組み
生産電気使用量5%削減 4463kWh以下/百万円 (売上比) 電気使用量5%削減 (2017年基準比)	省エネ設備導入 不要時の消灯・電源OFF 空調温度適正管理 生産効率	評価：◎ 2022年度目標達成 売上増加による生産効率UP。	<ul style="list-style-type: none"> 生産効率化による電気使用量の削減 デマンド監視装置にてピーク電力の制御
廃棄物排出量2%削減 19.6kg/百万円 (売上比) (2019年基準比)	分別基準の説明 分別回収の徹底 リサイクル化の推進 紙使用量削減 エコ商品の購入	評価：○ 再利用と分別による。	<ul style="list-style-type: none"> 売上向上による汚泥割合の軽減 工場間での削減改善案の共有
水使用量3%削減 2.32 m ³ /百万円 (2018年基準比)	節水への呼びかけ 節水蛇口等の取り付け 漏水防止	評価：◎ 節水呼びかけと監視にて達成。	<ul style="list-style-type: none"> 節水改善案 漏水監視
グリーン購入促進	グリーン購入調査	評価：◎ エコ製品の推進	<ul style="list-style-type: none"> エコマークの周知 継続的なグリーン購入品調査
化石燃料削減	燃費向上運転教育	評価：○ 秋田工場⇄山形第二工場工場間移動増加による	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブ教育 エコドライブ監視

8-3. 環境活動の取り組み結果と評価(山形工場)

評価基準：◎：120%以上達成率

○：概ね100%以上達成率

△：75%～100%未満の達成率

×：75未満の達成率

環境目標	活動項目	取り組み結果の評価	次年度取り組み
電気使用量2%削減 366,240kWh以下 (2019年基準比)	省エネ設備導入 不要時の消灯・電源OFF 空調温度適正管理	評価：○ コロナによる売り上げ減少及び 一部生産移管による。	・生産効率化による電気使用量の削減
廃棄物排出量2%削減 9.8t以下 (2019年基準比)	分別基準の説明 分別回収の徹底 リサイクル化の推進 紙使用量削減 エコ商品の購入	評価：◎ 山形第二工場と同様の目標設定としたため。	・分別回収の徹底 ・紙使用量削減
水使用量2%削減 784 m ³ 以下 (2019年基準比)	節水への呼びかけ 節水蛇口等の取り付け 漏水防止	評価：◎ 漏水管理・生産稼働低下による。	・節水改善案 ・漏水監視
グリーン購入促進	グリーン購入調査	評価：◎ エコ製品の調査と推進による。	・エコマークの周知 ・継続的なグリーン購入品調査
化石燃料削減	燃費向上運転教育	評価：× エキスパート目標未達 車種も古く燃費が悪い。	・エコドライブ教育 ・エコドライブ監視 ・エコカー購入検討

8-4. 環境活動の取り組み結果と評価(山形第二工場)

評価基準：◎：120%以上達成率

- ：概ね100%以上達成率
 △：75%～100%未満の達成率
 ×：75未満の達成率

環境目標	活動項目	取り組み結果の評価	次年度取り組み
電気使用量2%削減 683,142kWh以下 (2019年基準比)	省エネ設備導入 不要時の消灯・電源OFF 空調温度適正管理 生産効率	評価：○ 生産切替が進み以前より効率的ものづくりが出来ているため	・生産効率化による電気使用量の削減
廃棄物排出量2%削減 9.8t以下 (2019年基準比)	分別基準の説明 分別回収の徹底 リサイクル化の推進 紙使用量削減 エコ商品の購入	評価：◎ 前々年度の実績から目標設定をしたが、期間が短くまた、廃棄物が集中している時期が選定されたため。	・分別回収の徹底 ・紙使用量削減
水使用量2%削減 784 m ³ 以下 (2019年基準比)	節水への呼びかけ 節水蛇口等の取り付け 漏水防止	評価：○ 漏水事故が一度あったが目標達成。対策を行い効果確認中。	・節水改善案 ・漏水監視
グリーン購入促進	グリーン購入調査	評価：◎ エコ製品の調査と推進による。	・エコマークの周知 ・継続的なグリーン購入品調査
化石燃料削減	燃費向上運転教育	評価：× エキスパート目標未達 車種も古く燃費が悪い。	・エコドライブ教育 ・エコドライブ監視 ・エコカー購入検討

9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無 (東京工場)

区分	法規制等名称	対象施設等	条項	遵守チェック
大気関係	大気汚染防止法	加湿用蒸気発生器用2台	ボイラー則10条	提出済み
	フロン排出抑制法	業務用エアコン(7.5kW以上)	H26環告示13号別表2	○
		業務用エアコン、冷水器等(7.5kW未満) 業務用エアコン、冷水器等の廃棄	法43条	○
水関係	水道法	上水利用	法23条	提出済み
	町田市下水道条例	下水道への排水	条例12条	○
		雨水	例14条	○
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	産業廃棄物(汚泥・廃プラ・金属くず)	法12条2項	○
			法12条4項	○
			法12条7項	○
			法12条の3⑥	○
	法12条の3⑦	○		
町田市廃棄物の減量化及び資源化並びに適正処理に関する条例	一般廃棄物(可燃、不燃)	条例26条	○	
家電リサイクル法	冷蔵庫、テレビ	法6条	○	
小型家電リサイクル法	掃除機、電話機等	法6条	○	
自動車リサイクル法	公用車(乗用2台)	法8条	○	
騒音・振動	騒音規制法	加圧能力 294kN以上(30t) プレス 原動機の定格出力 7.5kW	法6条	提出済み
	振動規制法		法4条	○
毒劇	毒物及び劇物取り締まり法	アンモニア:劇物(アンモニアタンク)	法22条	○
火災予防	消防法	防火対象での点検・設備維持等	法8条	○
		消火設備、避難路、物品の消火性能	法8条の3	○
		消防訓練の実施	法8条	○
		油倉庫	法9条	○
車両運転	道路運送車両法	公用車(乗用4台)	法47条の2	○
	道路交通法	運転者	法64-74条	○
化学物質	RoHS指令	原材料・副資材		○
	ELV指令	原材料・副資材		○
	REACH規則	原材料・副資材		○
	顧客要求グリーン調達基準	原材料・副資材		○

当社における過去5年間の法規違反又は起訴などは一切ございませんでした。

9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無 (秋田工場)

区分	法規制等名称	対象施設等	条項	遵守チェック
大気関係	大気汚染防止法	加湿用蒸気発生器用2台	ボイラー則10条	提出済み
		業務用エアコン、冷水器等(7.5kW未満) 18台	H26環告示13号別表1	○
		業務用エアコン、冷水器等の廃棄	法43条	○
水関係	水道法	上水利用	法23条	提出済み
	横手市市下水道条例	下水道への排水	条例12条	○
		雨水油水分離槽	例14条	○
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	産業廃棄物(汚泥・廃プラ・金属くず)	法12条2項	○
			法12条4項	○
			法12条7項	○
			法12条の3⑥	○
			法12条の3⑦	○
	横手市廃棄物の減量化及び資源化並びに適正処理に関する条例	一般廃棄物(可燃、不燃)	条例26条	○
家電リサイクル法	冷蔵庫、テレビ	法6条	○	
	小型家電リサイクル法	掃除機、電話機等	法6条	○
	自動車リサイクル法	公用車(乗用2台)	法8条	○
騒音・振動	騒音規制法	加圧能力 294kN以上(30t) プレス	法6条	提出済み
	振動規制法	原動機の定格出力 7.5kW	法4条	○
火災予防	消防法	防火対象での点検・設備維持等	法8条	○
		消火設備、避難路、物品の消火性能	法8条の3	○
		消防訓練計画策定・実施	法8条	○
		油管理	法9条	○
車両運転	道路運送車両法	公用車(乗用2台)	法47条の2	○
	道路交通法	運転者	法64-74条	○
化学物質 ※	RoHS指令	原材料・副資材		
	ELV指令	原材料・副資材		
	REACH規則	原材料・副資材		
	顧客要求グリーン調達基準	原材料・副資材		
※化学物質管理は、東京工場にて一元管理				

当社における過去5年間の法規違反又は起訴などは一切ございませんでした。

9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無 (山形工場)

区分	法規制等名称	対象施設等	条項	遵守チェック
大気関係	大気汚染防止法	業務用エアコン、冷水器等(7.5kW未満) 4台	H26環告示13号別表1	○
		業務用エアコン、冷水器等の廃棄	法43条	○
水関係	水道法	上水利用	法23条	—
	水質汚濁防止法	河川への排水	12条	○
	浄化槽法	浄化槽	8・9・11条	○
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	産業廃棄物(汚泥・廃プラ・金属くず)	法12条2項 法12条4項 法12条7項 法12条の3⑥ 法12条の3⑦	○ ○ ○ ○ ○
	遊佐町廃棄物の減量化及び資源化並びに適正処理に関する条例 家電リサイクル法	一般廃棄物(可燃、不燃) 冷蔵庫、テレビ	条例26条 法6条	○ ○
	小型家電リサイクル法	掃除機、電話機等	法6条	○
	自動車リサイクル法	公用車(乗用2台)	法8条	○
騒音・振動	騒音規制法	加圧能力 294kN以上(30t)以上	法6条	—
	振動規制法	原動機の定格出力 7.5kW	法4条	○
火災予防	消防法	防火対象での点検・設備維持等	法8条	○
		消火設備、避難路、物品の消火性能	法8条の3	○
		消防訓練の実施	法8条	○
		油倉庫	法9条	○
車両運転	道路運送車両法	公用車(乗用2台)	法47条の2	○
	道路交通法	運転者26名	法64-74条	○
化学物質	RoHS指令	原材料・副資材		△
	ELV指令	原材料・副資材		△
	REACH規則	原材料・副資材		△
	顧客要求グリーン調達基準	原材料・副資材		△
※化学物質管理は、東京工場にて一元管理				

当社における過去5年間の法規違反又は起訴などは一切ございませんでした。

9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無 (山形第二工場)

区分	法規制等名称	対象施設等	条項	遵守チェック
大気関係	フロン排出抑制法	業務用エアコン(7.5kW以上)	H26環告示13号別表2	
		業務用エアコン、冷水器等(7.5kW未満)	H26環告示13号別表1	○
		業務用エアコン、冷水器等の廃棄	法43条	○
水関係	水道法	上水利用	法23条	2018年12月
	水質汚濁防止法	河川への排水	12条	○
	浄化槽法	浄化槽	8・9・11条	○
	水質汚濁防止法	油水分離層	水質汚濁防止法14条	○
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	産業廃棄物(汚泥・廃プラ・金属くず)	法12条2項 法12条4項 法12条7項 法12条の3⑥ 法12条の3⑦	○ ○ ○ ○ ○
	遊佐町廃棄物の減量化及び資源化並びに適正処理に関する条例	一般廃棄物(可燃、不燃)	条例26条	○
	家電リサイクル法	冷蔵庫、テレビ	法6条	○
	小型家電リサイクル法	掃除機、電話機等	法6条	○
	自動車リサイクル法	公用車(乗用2台)	法8条	○
騒音・振動	騒音規制法	加圧能力294kN以上(30t以上)	法6条	2018年12月
	振動規制法	原動機の定格出力 7.5kW	法4条	○
火災予防	消防法	防火対象での点検・設備維持等	法8条	○
		消火設備、避難路、物品の消火性能	法8条の3	○
		消防訓練の実施	法8条	○
		油倉庫	法9条	○
車両運転	道路運送車両法	公用車(乗用2台)	法47条の2	○
	道路交通法	運転者18名	法64-74条	○
化学物質	RoHS指令	原材料・副資材		
	ELV指令	原材料・副資材		
	REACH規則	原材料・副資材		
	顧客要求グリーン調達基準	原材料・副資材		
※化学物質管理は、東京工場にて一元管理				

当社における過去5年間の法規違反又は起訴などは一切ございませんでした。

10-1 代表者による全体の評価と見直しの記録(東京工場)

(適切性、妥当性、有効性の確認)

社長承認 池田 行廣

開催日:2022年12月8日10時30分～11時35分 出席者:高木主任、森田、白藤(web本社:池田、山根) 記録:山根裕也 作成日12月8日

環境管理責任者の報告	環境管理責任者の提案	社長の指示										
<p>【取組状況の評価結果】</p> <p>①環境関連法規制等の遵守状況 定期評価を実施した結果遵守されている</p> <p>②是正及び予防処置の状況 環境教育実施・廃棄物分別・削減実施・省エネ設備導入・導入検討</p>	<p>【是正及び予防処置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全社員の意識向上による提案改善提案表彰 ・省エネ設備導入の推進 ・環境活動の見える化(掲示板やデマンド管理) 	<p>社会活動の中で環境活動の重要性・社会的責任をよく理解し、積極的に改善を進めてください。</p>										
<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <table border="0"> <tr><td>省エネルギー</td><td>×</td></tr> <tr><td>水使用削減</td><td>○</td></tr> <tr><td>廃棄物の削減</td><td>×</td></tr> <tr><td>グリーン購入</td><td>○</td></tr> <tr><td>化石燃料削減</td><td>○</td></tr> </table>	省エネルギー	×	水使用削減	○	廃棄物の削減	×	グリーン購入	○	化石燃料削減	○	<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>環境担当者が各目標と計画のPDCAを行い、目標達成を目指してください。</p> <p>電気使用量削減目標に関しては、生産減少のため基準値目標見直します。</p>	<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>電気量削減は、山形への製品移管にて削減とする。</p> <p>廃棄物削減は、輸入品の包装資材の再利用化と廃棄物削減は、荷姿等の工夫による資材削減も検討すること。</p> <p>基準値目標見直し了解しました。</p>
省エネルギー	×											
水使用削減	○											
廃棄物の削減	×											
グリーン購入	○											
化石燃料削減	○											
<p>【周囲の変化状況】</p> <p>事業者は製品・サービスを含む全ての事業活動の中に、省エネルギー、省資源、廃棄物削減率の取組を行う事が求められています。</p>	<p>【その他の環境経営システムの各要素】</p> <p>エコアクション21を活かし成果向上に努める</p>	<p>【環境経営システム各要素】</p> <p>・環境管理担当で年間環境教育計画をたて環境を教育を実施する。</p>										

社長の総合コメント:

東京工場は、製造から販売へと業務の変化がありますので変化時は、環境に十分配慮して活動を進めてください。又、仕入れ先にも環境活動の協力をお願いしてください。購入品(中国)の販売拡大による産業廃棄物増加の影響も大きいので、対応を早急に検討お願いしてください。²⁵

10-2 代表者による全体の評価と見直しの記録(秋田工場)

(適切性、妥当性、有効性の確認)

社長承認 池田 行廣

開催日:2022年12月8日10時30分~11時35分

出席者:柿崎・今野 (web本社:池田、山根)

記録:山根裕也 作成日12月8日

環境管理責任者の報告	環境管理責任者の提案	社長の指示										
<p>【取組状況の評価結果】</p> <p>①環境関連法規制等の遵守状況 定期評価を実施した結果遵守されている</p> <p>②是正及び予防処置の状況 環境教育実施・廃棄物分別・削減実施・ 省エネ設備導入・導入検討</p>	<p>【是正及び予防処置】</p> <ul style="list-style-type: none">・全社員の意識向上による提案改善提案表彰・省エネ設備導入の推進・環境活動の見える化(掲示板やデマンド管理)	<p>社会活動の中で環境活動の重要性・社会的責任をよく理解し、積極的に改善を進めてください。</p>										
<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <table border="0"><tr><td>省エネルギー</td><td>○</td></tr><tr><td>水使用削減</td><td>○</td></tr><tr><td>廃棄物の削減</td><td>○</td></tr><tr><td>グリーン購入</td><td>○</td></tr><tr><td>化石燃料削減</td><td>○</td></tr></table>	省エネルギー	○	水使用削減	○	廃棄物の削減	○	グリーン購入	○	化石燃料削減	○	<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>各目標と計画のPDCAを行い、目標達成を目指してください。</p>	<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>すべて目標達成は評価できる。 CO2排出量削減が必須となるため、継続して環境活動を計画通り進めてください。</p>
省エネルギー	○											
水使用削減	○											
廃棄物の削減	○											
グリーン購入	○											
化石燃料削減	○											
<p>【周囲の変化状況】</p> <p>事業者は製品・サービスを含む全ての事業活動の中に、省エネルギー、省資源、廃棄物削減率の取組を行う事が求められています。</p>	<p>【その他の環境経営システムの各要素】</p> <p>エコアクション21を活かし成果向上に努める</p>	<p>【環境経営システム各要素】</p> <ul style="list-style-type: none">・環境管理担当で年間環境教育計画をたて環境を教育を実施する。										

社長の総合コメント:
環境管理責任者の報告にあるピーク電力削減や売上増加比率>電気使用量増加率の結果から経営改善と環境改善がうまく運用でき評価できる。引き続き継続した経営+環境改善を進めてください。

10-3 代表者による全体の評価と見直しの記録(山形工場)

(適切性、妥当性、有効性の確認)

社長承認 池田 行廣

開催日:2022年12月8日10時30分～11時35分

出席者:菊地、遠田、渋谷(web本社:池田、山根)

記録:山根裕也 作成日12月8日

環境管理責任者の報告	環境管理責任者の提案	社長の指示
<p>【取組状況の評価結果】</p> <p>①環境関連法規制等の遵守状況 定期評価を実施した結果遵守されている</p> <p>②是正及び予防処置の状況 環境教育実施・廃棄物分別・削減実施・省エネ設備導入・導入検討</p>	<p>【是正及び予防処置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全社員の意識向上による提案改善提案表彰 ・省エネ設備導入の推進 ・環境活動の見える化(掲示板やデマンド管理) 	<p>社会活動の中で環境活動の重要性・社会的責任をよく理解し、積極的に改善を進めてください。</p>
<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>省エネルギー ○</p> <p>水使用削減 ○</p> <p>廃棄物の削減 ○</p> <p>グリーン購入 ○</p> <p>化石燃料削減 △</p>	<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>各目標と計画のPDCAを行い、目標達成を目指してください。</p>	<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>すべて目標達成。 コロナの影響・目標設定の妥当性もあるため、次年度の結果も踏まえ総合的に評価が必要。</p>
<p>【周囲の変化状況】</p> <p>事業者は製品・サービスを含む全ての事業活動の中に、省エネルギー、省資源、廃棄物削減率の取組を行う事が求められています。</p>	<p>【その他の環境経営システムの各要素】</p> <p>エコアクション21を活かし成果向上に努める</p>	<p>【環境経営システム各要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境管理担当で年間環境教育計画をたて環境を教育を実施する。
<p>社長の総合コメント: 昨年度EA21取得しましたが、こちらが最終目標ではなく環境活動の取り組みの継続が目的です。環境活動をよく理解し、積極的に取り組みを進めてください。</p>		

10-4 代表者による全体の評価と見直しの記録(山形第二工場)

(適切性、妥当性、有効性の確認)

社長承認 池田 行廣

開催日:2022年12月8日10時30分～11時35分 出席者:菊地、遠田、佐藤(隆)(web本社:池田、山根) 記録:山根裕也 作成日12月8日

環境管理責任者の報告	環境管理責任者の提案	社長の指示										
<p>【取組状況の評価結果】</p> <p>①環境関連法規制等の遵守状況 定期評価を実施した結果遵守されている</p> <p>②是正及び予防処置の状況 環境教育実施・廃棄物分別・削減実施・ 省エネ設備導入・導入検討</p>	<p>【是正及び予防処置】</p> <ul style="list-style-type: none">・全社員の意識向上による提案改善提案表彰・省エネ設備導入の推進・環境活動の見える化(掲示板やデマンド管理)	<p>社会活動の中で環境活動の重要性・社会的責任をよく理解し、積極的に改善を進めてください。</p>										
<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <table><tr><td>省エネルギー</td><td>○</td></tr><tr><td>水使用削減</td><td>○</td></tr><tr><td>廃棄物の削減</td><td>○</td></tr><tr><td>グリーン購入</td><td>○</td></tr><tr><td>化石燃料削減</td><td>○</td></tr></table>	省エネルギー	○	水使用削減	○	廃棄物の削減	○	グリーン購入	○	化石燃料削減	○	<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>各目標と計画のPDCAを行い、目標達成を目指してください。</p>	<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p> <p>漏水再発防止を監視してください。</p> <p>目標達成の評価に関しては、コロナの影響・目標設定の妥当性もあるため、次年度の結果も踏まえ総合的に評価が必要。</p>
省エネルギー	○											
水使用削減	○											
廃棄物の削減	○											
グリーン購入	○											
化石燃料削減	○											
<p>【周囲の変化状況】</p> <p>事業者は製品・サービスを含む全ての事業活動の中に、省エネルギー、省資源、廃棄物削減率の取組を行う事が求められています。</p>	<p>【その他の環境経営システムの各要素】</p> <p>エコアクション21を活かし成果向上に努める</p>	<p>【環境経営システム各要素】</p> <ul style="list-style-type: none">・環境管理担当で年間環境教育計画をたて環境を教育を実施する。										

社長の総合コメント:
昨年度EA21取得しましたが、こちらが最終目標ではなく環境活動の取り組みの継続が目的です。
環境活動をよく理解し、積極的に取り組みを進めてください。